

臨牀外科 第23巻 総目次

1968年 (第1号～第13号)

〔外科の焦点〕

外科における水分電解質異常の治療

砂田 輝武・志水 治……13(1)

手術創感染の問題点

柴田 清人・今津 市郎・岡田 英也

木村 章二・伊藤 忠夫・水野 貴男……161(2)

blind loop syndrome の治療

中山 恒明・羽生富士夫・矢野 証多……301(3)

冷凍血液の臨床応用

隅田 幸男・田代 稔・奥山 綏夫

亀谷 寿彦……443(4)

残胃に関する問題点

上垣 恵二・浅見 恵司・板垣 潔

川口 政行・木下 智治・額田 克海……591(5)

病識の形成と医療阻害

林 浩一郎・竹広 舜……985(7)

同種心臓弁移植—とくにその手技的

検討について—

田辺 達三・渡辺 正二・村上 忠司

高木 正光・久保 良彦・太田 里美

美阪 啓次・富山 三良・横田 旻

橋本 正人・町田莊一郎・今井 利賢

杉山 誠・青木 高志・杉江 三郎……1263(9)

外傷の Intensive therapy

杉本 侃・桂田 菊嗣・太田 宗夫

田中 範明・北脇 哲男・浜中 雄二

美馬 昂……1417(10)

癌の手術療法と化学療法の併用……中里 博昭……1561(11)

心臓人工弁の臨床応用

和田 寿郎・北谷 知己……1707(12)

小児外科領域における超音波診断法

駿河敬次郎・平井 慶徳・和賀井敏夫……1857(13)

〔特集〕

—初療の要点—

めまい、頭痛……佐藤 文明……25(1)

胸痛……正木 幹雄……31(1)

腹痛……飯塚 積……34(1)

吐血、下血……戸部 隆吉……39(1)

熱傷……藤田 五郎……45(1)

創傷……由良 二郎……50(1)

骨折……鈴木 勝己・高橋 定雄……55(1)

—出血の問題点—

出血とショック……織畑 秀夫……169(2)

消化管出血……土屋 周二……177(2)

腎出血……穴戸仙太郎・土田 正義……187(2)

骨・関節の出血……渡辺 正毅……195(2)

出血と輸血……林 久恵・川田 高俊……201(2)

外科領域における出血傾向

砂田 輝武・志水 浩・河合 進

重本 弘定・藤山 登・尾崎 光泰

中矢 良一・島村 幸夫・大本武千代

田淵 三郎・熊田 佳郎・林 繁樹

藤谷 良幸・源 佑一郎・山田 良……207(2)

—術後困難症の処置—

頭部手術後の頭痛、嘔吐……宮崎 雄二……307(3)

胸部手術後に発生した動脈瘤……新井 達太……313(3)

消化管手術後の便通異常—特に胃切

除、迷走神経合併術後および大

腸全切除術後の下痢について—

柳川莊一郎・池田 典次・山岸三木雄……319(3)

虫垂炎手術後の腹痛

西島 早見・伊槻 敏信……325(3)

胃切除後の貧血

古賀 成昌・穴戸 光範・古沢元之助……335(3)

—最良の手術時点—

全身状態と手術時点

陣内伝之助・村上 文夫……455(4)

硬膜下血腫の最良の手術時点……喜多村孝……461(4)

心臓疾患……麻田 栄・川崎 富夫……465(4)

閉塞性黄疸

菅原 克彦・森岡 恭彦・玉熊 正悦

河野 信博・荷見 秋彦・柏井 昭良

小暮 洋暉・白倉 徹哉……473(4)

胃・十二指腸潰瘍

村上 忠重・川俣 建二・渡部 洋三

長浜 徹……481(4)

小児鼠径ヘルニア	
森田 建・東 悦雄	487(4)
胆石症	植 草 実 493(4)
膝炎の手術時点	佐藤 寿雄・斉藤 洋一 499(4)
術後出血	服部 孝雄・阿部 和哲 505(4)
—臓器移植の可能性—	
対談＝臓器移植の可能性と倫理	
榑 原 仟・石川 浩一	600(5)
臓器移植の可能性—特に組織適合性	
を中心に—	岩崎 洋治 609(5)
心移植の可能性	近藤 芳夫 617(5)
肺移植の臨床応用の可能性	
辻 泰邦・調 函治・富田 正雄	625(5)
肝移植の可能性	村上 文夫 632(5)
—木本誠二教授退官記念特集—	
序にかえて	三枝 正裕 729(6)
担癌宿主の抗腫瘍性反応	ト部美代志 730(6)
乳癌の研究をかえりみて	藤森 正雄 745(6)
縦隔胸腔内神経原性腫瘍—42 例の臨	
床病理学的検討—	
羽田野 茂・岡 厚	753(6)
炎症性動脈瘤の外科	
和田 達雄・松本 昭彦・貴邑 健司	763(6)
静脈の外科—その研究道程と将来—	
杉江 三郎	771(6)
熱傷	林 周一・八木 義弘 785(6)
移植の基礎的問題	石橋 幸雄 793(6)
カプセルによる消化管検査	綿 貫 喆 800(6)
人工腎	
石井 淳一・人江 邦夫・高 垣 俊	
飯島 恒司・土岐 秀典・太田 秀男	
渡部 照光	812(6)
心臓外科と麻酔	稲 田 豊 820(6)
人工弁置換手術の臨床	浅野 献一 830(6)
人工心臓	渥美 和彦・桜井 靖久 839(6)
Banti 病の独立性について	
鈴木 忠彦・中 作 修・和 佐 武	
島 一 秀・布施 徳馬	853(6)
先天性胆道閉塞症の治療	
駿河敬次郎・平井 慶徳・長島 金二	
清宮 弘毅・中島 研郎・尾 崎 元	
橋本 俱男・河野 澄男・池田 舜一	
宮 野 武	861(6)
教室における直視下心臓内手術の発展	
三枝 正裕	869(6)
小児腹部腫瘍—主として悪性腫瘍	
について—	石田 正統 877(6)
門脈圧亢進症の病因とその治療	
杉浦 光雄	885(6)
小児外科領域における水分電解質代謝	
斉藤 純夫	895(6)
教室における肺および気管支外科の	
回顧と現況	吉村 敬三 905(6)
低体温法の現況とその問題点	
阿曾 弘一・船木 治雄	913(6)
腎移植	稲生 綱政 922(6)
遠隔成績よりみた末梢動脈再建術の検討	
上 野 明・丸山 雄二・栗根 康行	
村上 国男・関 正 威・根 本 曙	
多田 祐輔・向山 昭吉	929(6)
循環機能の外科病態生理	
—ことにショックについて—	
堀 原 一・須磨 幸蔵・三井 利夫	
鰐淵 康彦・片山 憲持・山崎 善弥	
広瀬 益雄・尾本 良三・尾 河 豊	
豊田 忠之・関 口 弥・藤森 義蔵	939(6)
手術成績からみた胃癌治療の適応と限界	
坂本 啓介・三 浦 健・秋 山 洋	
豊島 範夫・本田善九郎・豊田 忠之	
榑 原 譲・茅野 嗣雄・奥山 正治	948(6)
保存大動脈弁の移植	
水 野 明・池田 貞雄・小林 寛伊	
三枝 正裕	959(6)
心臓移植	
上 井 巖・中村 和雄・伊藤 健二	
長谷川嗣夫・古 瀬 彰・小藤田敬己	
三枝 正裕	965(6)
—手と足の外傷—	
開放創の処置	福田 三男・佐 藤 修 991(7)
手と足の骨折と脱臼—特にその初療	
と子後—	高木 常光 997(7)
腱損傷の治療	栗 村 仁・南条 文昭 1005(7)
神経損傷の治療—特にその外科的処置—	
諸富 武文	1011(7)
末梢動脈外傷—急性期治療を中心に—	
三島 好雄・森岡 恭彦	1019(7)
形成外科の立場から初療に希む	
伊藤 盈爾	1028(7)
—脾・胆・肝の外科—	
脾炎治療の問題点	
本庄 一夫・小沢 和恵・武田 博士	1129(8)
慢性脾炎の臨床	内藤 聖二・中島 泰三 1141(8)

膵臓のX線診断

加藤 富三・山岸 嘉彦・山中 延之
青山 文七・伊藤 正・西尾 豊彦
小林 直紀・竹中 清次……………1153(8)

胆石の形成機序について

松倉 三郎・富田 一男・松永 睦郎……………1169(8)

胆石症併存疾患および胃切後胆石症の検討

川島 健吉・登内 真・二杉 和男
吉田 雋・三浦 則正・奈良橋喜成
戸沢 弘明・本庄 修・中島 聡総
真田 勝弘・戸叶 正俊・村田 晃一
山口 晋……………1177(8)

総胆管癌に合併した肝嚢胞の1剖検例

田中 健蔵・羽栗 純夫・友田 秀教……………1185(8)

胆嚢捻転症の1例

……………若佐 理・原 滋郎……………1191(8)

大量の吐血、下血をくり返した胆石に

よる胆石による胆道出血の1例

井上 生二・緒方 節夫・山川 良精
染矢 内記……………1201(8)

石灰乳胆汁の1例

杉本 雄三・大津 章・吉永 道生
丸山 泉・藤原 美碧・河嶋 稔……………1205(8)

陶器様胆嚢および石灰乳胆汁を合併

した胆道癌の1例

加藤 金吾・杉 重喜・田島 知郎
村田 晃……………1209(8)

特発性総胆管拡張症の癌化

田中 千凱・渡辺 尚・可地 秀樹……………1215(8)

腎腫瘍と誤まれた肝腫瘍の1例

北川 司良・寺村 幸雄・自見 弘之……………1221(8)

肝を内容とする外傷性横隔膜ヘルニア

の1治療例

寺本 勅男・森 直之・蜂須賀喜多男
浅野 多一・松永 吉和・森 直和
加藤 量平・村類 允也……………1225(8)

肝外閉塞性黄疸をきたした Hodgkin

病の1例

堀内 弘・石飛 幸三・玉置 憲……………1229(8)

非寄生虫性多発性肝嚢胞症の1例

吉岡 諄二・柿 三郎・黒瀬 寅次
村上栄一郎・満田 夏樹・常松 英一……………1232(8)

一側肝管の閉塞による黄疸を伴った

胆道奇形の1例

米山 桂八・堀内 弘・竹内 成之……………1239(8)

肝右葉全切除による巨大な非寄生虫

性肝嚢胞の1治療例

富田 濤児・山田 伸明・宮崎 茂和
東京東一……………1245(8)

—脈管造影—

脳血管撮影と手術適応……………千ヶ崎裕夫……………1273(9)

肺血管および気管支動脈造影と手術適応

鈴木千賀志・仲田 祐・根谷崎敏彦……………1287(9)

心臓血管造影法

今野 草二・中島 一己・遠藤 真弘……………1301(9)

腹部外科領域における動脈造影と手術適応

石川 浩一・上垣 恵二・菅原 克彦
三島 好雄・森岡 恭彦……………1313(9)

大動脈造影

稲田 潔・中川 準平・藤田 幸男……………1333(9)

四肢動脈造影……………神谷 喜作……………1347(9)

脈管造影よりみた四肢浮腫

阪口 周吉・馬場 正三・石飛 幸三……………1355(9)

各種造影剤の特色と注意点

庄司 佑・山手 昇・中山 良有……………1367(9)

—肛門外科—

診療に必要な解剖の知識

……………鬼束 惇哉・檜垣 潜……………1427(10)

痔核・脱肛の治療—私の治療法—

……………小平 正……………1433(10)

肛門直腸周囲膿瘍、痔瘻の手術はど

うするか……………土屋 周二……………1439(10)

裂肛の治療はどうするか

……………渥美 和郎・小野田 肇……………1447(10)

肛門疾患の保存療法とその限界

……………三輪 徳定……………1455(10)

各種麻酔法の得失と肛門手術体位

……………隅越 幸男……………1460(10)

術後合併症と術後管理……………荒川広太郎……………1465(10)

—Encephalopathy の臨床—

外科領域における意識障害

林 四郎・伏見 一・佐野 博
小林 巖……………1571(11)

循環不全と Encephalopathy—特に開

心術施行症例を中心として

……………曲直部寿夫・上田 武……………1579(11)

肝不全と Encephalopathy

杉浦 光雄・阿部 秀一・三浦 健
市原 莊六・豊島 範夫……………1587(11)

腎不全と Encephalopathy

……………矢戸仙太郎・杉田 篤生……………1599(11)

Insulinoma と Encephalopathy

一症例および綜説—	
……………田中 早苗・田淵 勝輔…1607(11)	
麻酔と Encephalopathy……………岡田 和夫…1613(11)	
一顔面外傷のファースト・エイド—	
顔面軟部組織の損傷	
……………丹下 一郎・三宅伊予子…1717(12)	
軟部組織の損傷—眼部, 涙器の問題—	
……………久 富 潮…1723(12)	
眼窩骨折……………田嶋 定夫…1733(12)	
頬骨・上顎骨・複雑骨折……………藤野 豊美…1749(12)	
口腔損傷……………中村 保夫…1765(12)	
顔面損傷の保障問題をめぐって	
……………加 藤 昭…1773(12)	
関連領域の立場から	
脳神経外科の立場から……………東 徹…1781(12)	
眼科の立場から……………神沢 幸吉…1783(12)	
口腔外科の立場から	
……………藤 野 博・田代 英雄…1784(12)	
一癌外科の進歩・現状と将来—	
脳腫瘍……………千ヶ崎裕夫…1867(13)	
甲状腺癌……………藤本 吉秀…1873(13)	
頸部腫瘍……………服部 孝雄…1876(13)	
食道癌……………鍋谷 欣市…1881(13)	
縦隔腫瘍	
中村 和夫・松本 陽一・木曾 康裕…1884(13)	
肺癌……………堀江 昌平…1889(13)	
乳癌—診断に関する最近の知見—	
……………坂内 五郎…1893(13)	
胃癌……………村上栄一郎…1897(13)	
原発肝癌……………葛西 洋一・佐々木英制…1901(13)	
胆道癌—診断と治療—	
佐藤 寿雄・斉藤 洋一・斉藤 隆之…1905(13)	
後腹膜腫瘍	
庄 司 佑・山 手 昇・中山 良有	
中条 能正……………1911(13)	
膝癌……………土屋 涼一…1914(13)	
直腸癌……………山本 恵一・中塚 勝正…1919(13)	
結腸癌	
河 原 勉・安富 正幸・進藤 勝久…1927(13)	
腎臓癌……………岡 直 友…1931(13)	
四肢悪性腫瘍……………増田 元彦…1935(13)	
皮膚悪性腫瘍……………石原 和之…1938(13)	

〔 グ ラ フ 〕

外科的大腸疾患のX線診断における
新しい試み

代田 明郎・服部 博之・恩田 昌彦	
内田 隆也・浅川 祐三・小俣 則夫	
中島 義磨……………7(1)	
いわゆる鞭打ち損傷の臨床	
土屋 弘吉・土屋 恒篤・田 口 怜…155(2)	
心臓ペースメーカー	
堀 原 一・佐々木進次郎・河合忠一	
沢口 亮三・田中 茂夫・丹羽 信善	
三枝 幹久・福住 弘雄・堀口 泰範	
三井 利夫・山 本 弘・和気 秀文…295(3)	
(グラフ解説)……………堀 原 一…386(3)	
人工食道	
秋 山 洋・阿岸 鉄三・小泉 博義	
清水 正啓・吉岡 孝明・勝村 達喜	
帯津 良夫・中山 隆市・鍋谷 欣市…437(4)	
人工弁……………新井 達太…585(5)	
人工血管……………神谷 喜作…979(7)	
人工腎臓	
檀 上 泰・宮川 清彦・田中 信義	
佐藤 知義……………1123(8)	
人工肺臓……………川島 康生・上 田 武…1411(10)	
選択的気管支動脈撮影……………船木 治雄…1555(11)	
定位脳手術法……………杉田虔一郎…1699(12)	
高気圧治療棟……………榊原 欣作・高橋 英世…1851(13)	

〔 論 説 〕

血管性腫瘍の治療における流動性ブ	
ラスチックの血管内注入療法	
佐野 圭司・神 保 実・斉 藤 勇	
喜多村孝……………67(1)	
心内膜床欠損症の手術と遠隔成績	
榊 原 仟・横山 正義・高尾 篤良	
小 柳 仁……………77(1)	
糖尿病患者の術後死亡例について	
赤木 正信・谷 脇 孝・福田 武司…84(1)	
補助循環の研究に関する綜括的展望	
……………田辺 達三…223(2)	
肝内胆石症の病因および診断について	
……………志村 秀彦…231(2)	
頸椎鞭打ち損傷の治療	
片 岡 治・小林 郁雄・糸 原 学	
渡辺 秀雄・梁 復 興……………345(3)	
超音波記録診断装置, スーパーソノ	
グラムとその臨床応用—とくに	
胆石症の診断について—	
三 樹 勝・藤島 義一・谷口 恒義	

矢部 三郎	355(3)
側脳室腫瘍の手術経験	
田中 輝彦・伊藤善太郎・高橋 正晃	
宇根岡啓基・石橋 孝雄	367(3)
白金電極カテーテルの臨床応用	
杉江 三郎・沢口 亮三・笹川 勝次	517(4)
X線回折計 Diffractometer による胆	
石の新しい分析法	
松倉 三郎・代田 明郎・三 樹 勝	
富田 一男・松永 睦郎・服部 博之	
恩田 昌彦・山下 精彦・柴 積	
塚原 英之・埴原 忠良・清水 良泰	527(4)
Radio-mammography	
—新しい乳癌診断の試み—	
佐 藤 博・広田 和俊・大坪 雄三	
平 島 毅・西 村 明・佐々木 守	
黄 江 庭・大山 修身・三好 弘文	
竹 島 徹・金城和夫	649(5)
胃良性疾患の手術成績について	
松倉 三郎・吉葉 昌彦・大塚 敏文	
石郷岡政彦・藤木 弘毅・箱 崎 敬	
山下 精彦・塚原 英之	655(5)
頸椎鞭打ち損傷の予後と治療	吉良 貞伸 661(5)
血友病患者の手術—外傷性後頭蓋窩	
血腫により水頭症を惹起した重	
症血友病Aの幼児手術例を中心	
として—	
別府 俊男・荒井 康温・倉光 秀磨	
佐野謙太郎・山口 栄豊・仙 頭 茂	
鈴木 睦郎	1038(7)
Silicone oil による腹膜癒着防止の	
実験的ならびに臨床的検討	
葛西 洋一・佐々木英制・沖中 環夫	
後藤 洋一・上村 友也	1051(7)
胸部下行大動脈瘤手術の一工夫	
柿木 英佑・白羽弥右衛門・福住 弘雄	
上 道 哲・上原 信彦・金子 裕	
藤井 弘一・川島 正好・松 本 学	1058(7)
Juvenile Fibromatosis とその治療	
谷 村 弘・黄 秋 雄・戸部 隆吉	1063(7)
腎血管性高血圧症	
—外科的治療の成績と問題点—	
稲 田 潔・勝村 達喜・平井 淳一	
九富 勝美・林 繁 樹	1475(10)
消化性潰瘍 244 例についての術後長	
期の遠隔検査成績	

白鳥 常男・関 根 毅・塚 本 長	
菅原 俠治・黒 田 俊・岡林 敏彦	
斉藤 禎量・横山 成樹・伊藤 昭治	1485(10)
結腸癌の臨床統計観察	宮崎 五郎 1495(10)
局所灌流療法における効果に関与す	
る条件の検討	
赤木 正信・藤 田 馨・河津 昌幸	
古関 博治・由布 雅夫・宮本 吉辰	
原 武 司	1627(11)
腹部外傷の診断と治療—とくに閉鎖	
性損傷例について—	
……………亀田 長良・芦田 賢治	1633(11)
腺腫様甲状腺腫の再検討—病理組織	
学的特徴と臨床上の意義について—	
藤本 吉秀・岡 厚・福光 正行	1791(12)
感染を合併せる血管移植例の血行再	
建術……………大 原 到・大 内 博	1801(12)
各種血漿増量剤の止・凝血機序に及	
ぼす影響	
村上 誠一・太田 陽一・福田 明史	
小林 茂信・森田 信人・山崎 四郎	1831(12)
Ringer's lactate Solution を用いた	
体外循環開心術	
藤倉 一郎・安西 信行・川瀬 光彦	
遠藤 真弘・高野 良行・石井 信行	
堺 裕・山 口 繁	1943(13)
甲状腺機能性腺腫の臨床	
原田 種一・西川 義彦・鈴木 琢弥	
伊藤 国彦・土屋 武彦	1949(13)
[講 座]	
術前、術後管理の実際<1>入院よ	
り手術まで	
石塚 玲器・宮川 清彦・前 川 隆	
檀 上 泰・田中 信義・葛西 洋一	1823(12)
術前、術後管理の実際<2>術後管理	
石塚 玲器・宮川 清彦・前 川 隆	
檀 上 泰・田中 信義・葛西 洋一	1981(13)
[手術手技]	
乳幼児鼠径ヘルニアの手術	
……………秋 山 洋・伝田 俊男	111(1)
交通外傷による顔面変形の形成手術	
……………丹下 一郎・須田 秀雄	262(2)
交通外傷による顔面骨折	
桜田 允也・田嶋 定夫・杉本 智透	393(3)
人工肛門のつくり方……………鍋谷 欣市	691(5)

胃瘻のつくり方……………川俣 建二…1092(7)
 腸瘻のつくり方……………久野敬二郎…1394(9)
 卵巣嚢腫……………本多 憲児…1522(10)
 胃瘻のつくり方—特に Witzel 法に
 ついて—……………上山 幹夫…1664(11)
 ファロー氏四徴症の根治手術—とく
 に右心流出路形成法を中心とし
 て—
 堀内 藤吾・小山田 恵・阿倍 忠昭
 石戸 谷武・李 好 七・石川 茂弘
 横山 安那・日野 博光・松 岡 茂
 田中 茂徳・岡田 嘉之・佐藤 成和
 栗林 良正……………1815(12)

〔症 例〕

原発性類澱粉症を伴える上腸間膜動脈
 血栓症の1例
 半沢 幸一・関根 正人・河 村 孝…125(1)
 頭部外傷重症例に対するステロイド療
 法の経験
 泉 周 雄・渡辺 正幸・王城 通弘
 菅谷 英一……………131(1)
 活動性ランゲルハンス島腺腫の1手術
 治験例—本邦報告症例の統計的観
 察を含めて—
 森 田 建・西 尾 崇・海老原 学
 楡井 正義・細 田 仁・太田 昭文…135(1)
 Eledoisin の臨床使用
 神谷 喜作・飯野 三郎・内木 研一
 仁瓶 正教・林 春 男・日比 行雄…275(2)
 手術室内空気汚染に関する問題—とく
 にトリエチレングルコール使用経
 験について—
 中山 恒明・織畑 秀夫・秋田 善昭
 倉光 秀磨・榊 原 宣・山 本 勲…281(2)
 術後吻合部潰瘍の5例
 鳴海 弘泰・中内 幸郎・杉沢 利雄
 松野 耕治・嶋野 松朗……………407(3)
 胃壁内好酸球性肉芽腫の1例
 ……………増田 義徳・白崎 重弥…415(3)
 尿性腹膜炎
 森岡 恭彦・金子 信俊・菱本久美郎
 額田 克海・間中 純也……………419(3)
 再発性腸重積症の1例
 平塚 久男・水野 定彦・田部 基城
 長屋 孝美……………561(4)

頸部奇形腫について

武藤 輝一・島田 寛治・曾 我 淳
 関矢 忠愛・小 山 真・湧井智一郎
 鈴木 伸男・菅野 恒平・吉 川 侑
 松 木 久……………565(4)
 嚢胞性大動脈中膜壊死を伴った肺動脈
 狭窄症の1例
 陶 隸 土・佐々木真爾・陶 易 王
 寺島 重信・川 嶋 淳・石橋 武彦
 横山 成樹・安江 満悟……………709(5)
 動物性食餌による閉塞性イレウスにつ
 いて……………小金沢 滋…713(5)
 内頸動脈サイフォン部狭窄を示した視
 交叉蜘蛛膜炎の1例……………斉藤 義一…716(5)
 胃潰瘍穿孔に合併した Treitz ヘルニ
 ア (Trans-omental 合併) の1例
 水島 嘉平・住 吉 章・西代 博之…1099(7)
 乳腺結核の1例
 豊田 尚幸・堀 内 澄・小関 哲夫
 中 井 渉……………1103(7)
 肝臓位置異常による胃捻転と多発性小
 憩室を伴う Marfan Syndrome の
 1例
 宮崎 茂和・大場 正巳・檜原 徳之
 阪口 周吉・植 草 実……………1529(10)
 慢性硬膜外血腫の2治験例
 佐 藤 壮・田中 輝彦・岩 淵 隆
 平賀 旗夫・佐 野 進……………1535(10)
 外発性胃ノイリノームの1例
 平塚 弘之・清 水 力・野松 憲一
 染矢 周一・桂 榮 孝……………1539(10)
 Mondor 氏病の6例
 村 田 晃・杉山 道雄・加藤 金吾…1669(11)
 乳児の特発性乳糜胸の1手術治験例
 飯田 良直・飯田 文良・若尾 哲夫
 武 川 修・劉 香 祐・岩 沢 敬
 小松 幹司・横 山 宏……………1673(11)
 外傷性皮下腸管破裂の1治験例
 ……………奥 村 堯・稲川 勝義…1677(11)
 形質細胞乳腺炎の1例
 杉山 道雄・石倉 義弥・村瀬 活郎…1681(11)
 乳癌および胃癌の原発性重複癌の1例
 ……………黄 秋 雄・増田 強三…1990(13)
 ウィルムス腫瘍の6例
 松本 陽一・田 中 淳・金田 兵衛
 別府 真琴・宮本 正武・中 村 肇

三戸 寿・堀口 進……………1993(13)

〔カンファレンス〕

下腹部悪性新生物・同腹腔内転移・両

側腸骨静脈血栓症

小島 憲・林 裕・大橋 成一

A. Errion ・ W. Reed ・ Grosky

高木 顕・小沢 啓邦・上野 幸久

大出 良平・渡辺 勉・太田 怜

森永 武志・藤田 五郎・長瀬 行之

吉崎 正・佐久間 徹・中村 哲也

都丸 昌明・内藤 誠……………699(5)

〔他科の知識〕

停留嚔丸の治療……………仁平 寛巳…119(1)

麻酔科の立場からみた緊急気管切開

黒須 吉夫・矢沢 知海・明石 勝頼

田村 京子・稲見 浩三・佐藤 国男

金城 亀次……………270(2)

育麻の反省……………佐藤 光男・武藤 賢二…401(3)

交通事故と尿路損傷……………堀内 誠三…555(4)

〔座談会〕

第68回日本外科学会総会会長に聞く

卜部美代志・斉藤 渥・織畑 秀夫…………90(1)

〔トピックス〕

人工赤血球の実用をはばむもの…関口 彌…………89(1)

多彩な国際学会……………編集部…245(2)

心筋植込内胸動脈の血行動態……………須磨 幸蔵…377(3)

保存腎……………千野 一郎…535(4)

新しい術前術後管理……………後藤田圭博…675(5)

臨床研修病院とカリキュラム発表さる

……………編集部…1501(10)

我国初の心臓移植手術……………編集部…1645(11)

〔臨床メモ〕

輸血セットを利用した持続脳室ドレナ

ージ法……………松岡 健三…118(1)

下肢静脈瘤の手術的療法について

……………糸井 純三…254(2)

吐血・下血の治療……………長尾 房大…378(3)

頭蓋陥没骨折の手術……………東 健一郎…550(4)

体外循環と意識障害……………原 宏…690(5)

膝嚢胞の治療……………内田耕太郎…1068(7)

結腸・直腸癌について……………間島 進…1176(8)

制癌剤副作用の防止について……………近藤 達平…1219(8)

脳外科的手術における止血……………松井 将…1298(9)

術後の脂質栄養……………木村 信良…1326(9)

癌の骨転移……………後藤 守…1871(13)

〔手術器械の豆知識〕

縫合針……………島 文夫…95(1)

電気メス……………島 文夫…255(2)

止血鉗子……………島 文夫…383(3)

持続吸引器……………島 文夫…523(4)

胃腸縫合器……………島 文夫…683(5)

手術器械の転用、改良……………島 文夫…996(7)

〔海外だより〕

ヨーロッパの旅―「呼吸不全」と「救急蘇

生法」のシンポジウムから

……………岡田 和夫…246(2)

米国の2人のイレウス学者を訪ねて

……………四方 淳…380(3)

フランスの外科医……………森岡 恭彦…538(4)

人工弁と心移植……………瀬在 幸安…676(5)

英国の救急医療制度……………四方 淳…1072(7)

バイタリティに富んだドイツの外科医

―キール大学に留学して―…比企 能樹…1648(11)

SHOCK UNIT―USC Medical Center―

……………隅田 幸男…1968(13)

〔学会印象記〕

第2回高気圧環境医学研究会……………古田 昭一…97(1)

第26回日本脳神経外科学会……………稲葉 穰…250(2)

欧米学会と遊説旅行から……………白鳥 常男…680(5)

第54回日本消化器病学会

……………上垣 恵二・浅見 恵司…1069(7)

第68回日本外科学会総会

脳外科領域……………金谷 春之…1377(9)

心臓外科領域……………橋本 勇…1379(9)

消化器外科領域……………戸部 隆吉…1382(9)

血管外科領域……………毛受 松寿…1384(9)

小児外科領域……………守屋 荒夫…1386(9)

第1回日本消化器外科学会をきいて

……………織畑 秀夫…1504(10)

……………広田 和俊…1505(10)

1968年札幌癌シンポジウム……………早坂 滉…1965(13)

〔患者と私〕

病人こそ最良の師……………織畑 秀夫…384(3)

暖かい農村病院を……………伊藤 裕一…536(4)
病気だけでなく病人を治したい…石田 一夫…1502(10)
鬼手・仏心……………服部達太郎…1646(11)

〔雑 誌〕

早くから生きた患者に接する制度を
……………山崎 善弥…1078(7)
肛門診療へ一言……………三枝 純郎…1507(10)

〔ニュース〕

和を中心とした研究を一本本教授退官
記念講演会より……………編集部…542(4)

〔書 評〕

最新薬剤便覧……………桜井 喜一…38(1)
図説：脳卒中のリハビリテーション
……………椿 忠 雄…44(1)
図説・脳神経外科学……………黒岩義五郎…54(1)
病院経理の理論と実際……………井上 昌彦…104(1)
セントラル・サプライ……………長田 博之…104(1)
輸血検査……………村上 省三…200(2)
実験外科ハンドブック……………近藤 芳夫…253(2)
急性腹症……………曲直部寿夫…324(3)
物理学基礎—生理学・生化学研究
のための……………内 菌 耕二…379(3)
病院管理学入門……………岩 佐 潔…379(3)
急性腹症……………松永 藤雄…464(4)
選択的血管撮影……………平 松 博…491(4)
診断工学……………吉 利 和…544(4)
実験外科ハンドブック……………井 口 潔…544(4)
核医学……………入江 英雄…545(4)
輸血検査……………安藤 清平…563(4)
腹部症状を伴う脳脊髄炎症……………椿 忠 雄…616(5)
セントラル・サプライ……………小野田敏郎…631(5)
小児の医原性疾患……………大国 真彦…684(5)
腸管系病原菌の検査法……………清水喜八郎…684(5)
診断工学……………木村 栄一…685(5)
“Postoperative Complications in
Neurosurgical Practise”……………馬杉 則彦…696(5)
“Current Concepts in Breast Cancer”
……………榎本 耕治…707(5)
診断工学……………長 尾 透…1057(7)
心電図と5人の読みかた……………木 村 登…1076(7)
Sobotta 図説人体解剖学……………丸毛 英二…1076(7)

胸腺……………武谷 健二…1077(7)
“Anatomy and Surgery of Hernia”
……………齊 藤 溥…1204(8)
脈管造影の実際……………松野 誠夫…1286(9)
心臓病へのアプローチ……………和 田 敬…1372(9)
誤診……………黒川 利雄…1437(10)
呼吸器病学……………中 村 隆…1454(10)
日・英・独・仏 医学会話……………森 岡 亨…1499(10)
アレルギー 基礎と臨床……………大島 良雄…1510(10)
医学英文語法……………牛場 大蔵…1510(10)
“Cardiovascular Surgery 1967”
……………浅野 献一…1511(10)
診療における水と電解質……………阿 部 裕…1542(10)
“Atlas of X-Ray Diagnosis of
Early Gastric Cancer”
……………F. E. Templeton…1953(11)
“The Cavernostomy and Other Local
Treatments for Pulmonary
Tuberculosis”……………塩沢 正俊…1654(11)
新生児の観察法・検査法……………竹内 繁喜…1585(11)
呼吸器病学……………宝来 善次…1621(11)
日・英・独・仏 医学会話……………日野原重明…1655(11)
医療保障入門—その歩みと課題……………川 上 武…1679(11)
耳経耳科学検査法—とくに平衡機能検
査について……………佐野 圭司…1779(12)
“Planimetrie und Stereometrie der
Hautplastik; Theorie und Praxis
für Chirurgen”……………藤野 豊美…1800(12)
“Atlas of X-Ray Diagnosis of Early
Gastric Cancer”……………H. Bendt…1864(13)
電子顕微鏡による細胞組織図譜 第V巻
内分泌・皮膚……………藤田 恒夫…1892(13)
“The Cavernostomy and Other Local
Treatment for Pulmonary Tuber-
culosis”……………R. H. Overholt…1934(13)
アレルギー 基礎と臨床……………大国 真彦…1974(13)
人工血液……………豊田 忠之…1974(13)
病歴から診断へ—病歴がきめてとなる
疾患……………阿部 正和…1975(13)

〔外国文献〕

100(1), 256(2), 388(3), 546(4), 686(5), 1081(7),
1389(9), 1512(10), 1656(11), 1976(13)